

## 貧乏なんかじゃありません！

せせらぎ公園の中の舗装された遊歩道から東側の木々の植え込みのあたりに、キクによく似たハルジオンが群生しています。春真っ盛りのこの頃、ミツバチなどの多くの昆虫が蜜を求めてやってきます。

ところで、この可憐なハルジオンの別名は「貧乏草」というそうですが、なぜこんな名前が付いているのでしょうか。一説によれば、庭の手入れにお金をかけることができる裕福な家の庭には生えない一方、手入れが十分行き届いていない庭にはよく生えるため、こんな失礼な別名が付いたようです。“せせらぎ公園”は“貧乏な家の庭”ではありませんが、なにせ広大な敷地ですら人の手が十分に行き届かない場所もあり、ハルジオンにとっては絶好の生育場所になっているのです。

この「ハルジオン」に名前も姿もよく似た「ヒメジョオン」という花がありますが、この2つの花は咲く時期により見分けることができます。ハルジオンは春、ヒメジョオンは夏から秋にかけて咲きます。ちなみにヒメジョオンの別名は「鉄道草」といい、鉄道沿線によく群生して広まったからのようです。同じような植物なのに、別名の違いに何か納得いかないのは筆者だけでしょうか？

ハルジオン



森	の
日	記

シイタケ教室  
3月2日(日)

昨年に続き今年も原木の入手が困難でしたが、陶史の森の中に倒れているコナラなどを探し、なんとか調達できました。家族で力を合わせて電気ドリルで穴をあけ、駒菌を金づちで打ち付けるほ

ほ笑ましい光景を見ると、うれしい気持ちになります。シイタケが出る1年半後が楽しみです。

## ギフチョウ観察会

4月6日(日)

肌寒い朝でしたが、施設長による解説の後、約30頭のギフチョウの入った箱のふたが開けられると、参加者の皆さんは「うわあ～！きれい！」と歓声を上げ、美しい姿に見入っていました。しばらくすると、ギフチョウを手にとり“春の女神”との対面を楽しんでいました。



## 教室のご案内

## 5月

「陶史の森」写生会（要申込、雨天中止）

5月3日(土)・4(日) 午前9時～午後3時

陶史の森の自然や動植物を絵画にします。

対象は、保育園児・幼稚園児、小学生です。

ネイチャーセンター内に展示し、入賞者には賞状・賞品を贈ります。

※画用紙と画板は用意します。

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

5月25日(日) 午前9時～11時30分

春の野鳥を観察します。

## 6月

ミツバチ教室（要申込・定員120人）

6月15日(日) 午前9時～11時30分

蜂蜜搾り体験をし、その蜂蜜を味わいます。

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

6月22日(日) 午前9時～11時30分

初夏の野鳥を観察します。

